

「第4次柏市男女共同参画推進計画（案）」のパブリックコメント実施結果

1 実施期間

令和6年12月26日（木）から令和7年1月24日（金）まで

2 パブリックコメント件数

2件（提出者2名）

3 内容及び回答

いただいたご意見の内容及びそれに対する市の考えは以下のとおりです。

No	ご意見	市の考え
1	合計特殊出生率や出生数の低下を危惧しているのであれば、卵子凍結の助成などを検討していただきたいです。家族の形も多様化しております。婚姻関係のない男女でも不妊治療等の援助が受けられるといいのではないかと思います。子どもを望んでいても、パートナーがいない、未婚である、休みが取りにくいなど、今すぐ妊娠できない場合も多いと思います。ご検討をよろしくお願いいたします。	少子化対策として様々な支援や施策が求められている中、家族の形も多様化しており、妊娠・出産の選択肢を広げることは大切なことだと考えております。いただいたご意見にある不妊治療等に対する経済的負担の軽減も支援の一つと考えており、現在検討を進めているところです。
2	基本計画にある理念、目標、課題や施策の方向性を読ませて頂き、本当にこの通りに実現していけたらと強く感じました。 抽象的な目標をどう具体化するのか？において、創意工夫とチャレンジ精神が必要と思います。 例えば、柏市の職員さんは女性が多く働かれているようですが、会議などでは、圧倒的に男性が多く、管理職には女性が少ないのだという印象です。非正規雇用の方が増えていること、そこに女性が多いことが気になります。多様な生き方を認めあい、個性が生きさせることを形にする上で、どこを変えていくのか？構造を変えないと変わらないことも多いと思います。 例として、防災担当の女性職員の意見がたくさん活かされ女性視点にたった防災対策が叶えば、高齢者や子どもにとっても安心な防災対策になります。市民の安心に繋がります。そういった数々の積み重ねが波及して、教育にも更に活かされていくのではないのでしょうか？ 市役所は市町村の顔だと思うので、ぜひ改革してほしいです。市役所が変化することは柏市が変わることだと思います。 男女共同参画計画は、理念計画に終わらせず、具体的なアクションを変えて実現してほしいです。自分も日々の生活の身近なところから意識を変えて行動も変えていきたいと思っています。	市の意思決定に女性職員が多く関わっていくことは、計画の理念を実現するために重要であると認識しております。 女性管理職を増やす取組を引き続き、行っていくとともに、各所属における男女比に偏りが無いよう、人事配置を行うことで、各種施策に多様な視点が反映できるような体制構築に取り組んで参ります。